

令和8年度 寒河江市立南部小学校 学校経営方針

保護者・地域の皆様と共に、子供たちの未来を育む

寒河江市立南部小学校

私たちの揺るぎない約束：学校づくりの原点

「誰一人取り残さず 子供の可能性を引き出す学校づくり」

この理念が、私たち南部小学校のすべての教育活動の根幹です。
一人ひとりの子供が自分らしく輝ける場所であるために、
私たちは全力を尽くします。



私たちの目指す姿：『南部っ子』の育成

学校教育目標

「なかま・地域と共に学び 自ら育つ南部っ子」

なかま・地域と共に学ぶ



- 多様な他者（同級生、異学年、地域の方）との学びや交流
- 地域の財産（人、もの、こと）を活かした教材
- 社会との連携・協働

自ら育つ



- 「育てる」から「育つ」への転換
- 子供の主体性と当事者意識を尊重
- 選択と自己決定の場の提供

経営理念：誰一人取り残さない

これまでの学校（Before）

- ・「同じ」・「分ける」
- ・みんな違って、みんないい



これからの南部小（After）

- ・「違う」・「混ぜる」
- ・みんな違って、当たり前
- ・インクルーシブ教育が経営の軸



自分らしく（その子らしく）学校生活を送れる居場所づくり

目指す子供像：「自ら伸びようとする子供」

「育つこと」が目的であり、「育てること」は手段である



**主体的に
学ぶ子供**

自ら考え、協働して
学びを深める



**他者を尊重し、
対話できる子供**

自分も仲間も
大切にする



**自分の身体を
知る子供**

自律的に心身の
健康をつくる

未来を生き抜き、幸せを見つけるための 「4つの力」



【自律】自分で考え 行動する力

自らの意思で判断し、責任
をもって行動に移す。



【挑戦】踏み出す力

失敗を恐れず、新しいことに
一歩踏み出す勇気。



【尊重】人を大切にする力

自分と他者の違いを認め、
互いを思いやる心。



【創造】考え抜く力

課題に対して粘り強く思考
し、新たな価値を生み出す。

すべての力の源泉となる、「自己肯定感」

私たちが育む
「4つの力」は、
確かな「自己肯定感」
という土台があってこそ、
大きく花開きます。



自己肯定感は、
「生きていくため・幸せになるための
根本的な力」です。

強い心を育む、自己肯定感を支える6つの感覚



子供たちが自ら育つために、 私たちが大切にする3つの考え方



1. 「失敗」という学びの価値
挑戦を促す、安全な環境づくり。

2. 尊重に基づいた「本当の自由」
他者と共に生きるための、社会性の育成。

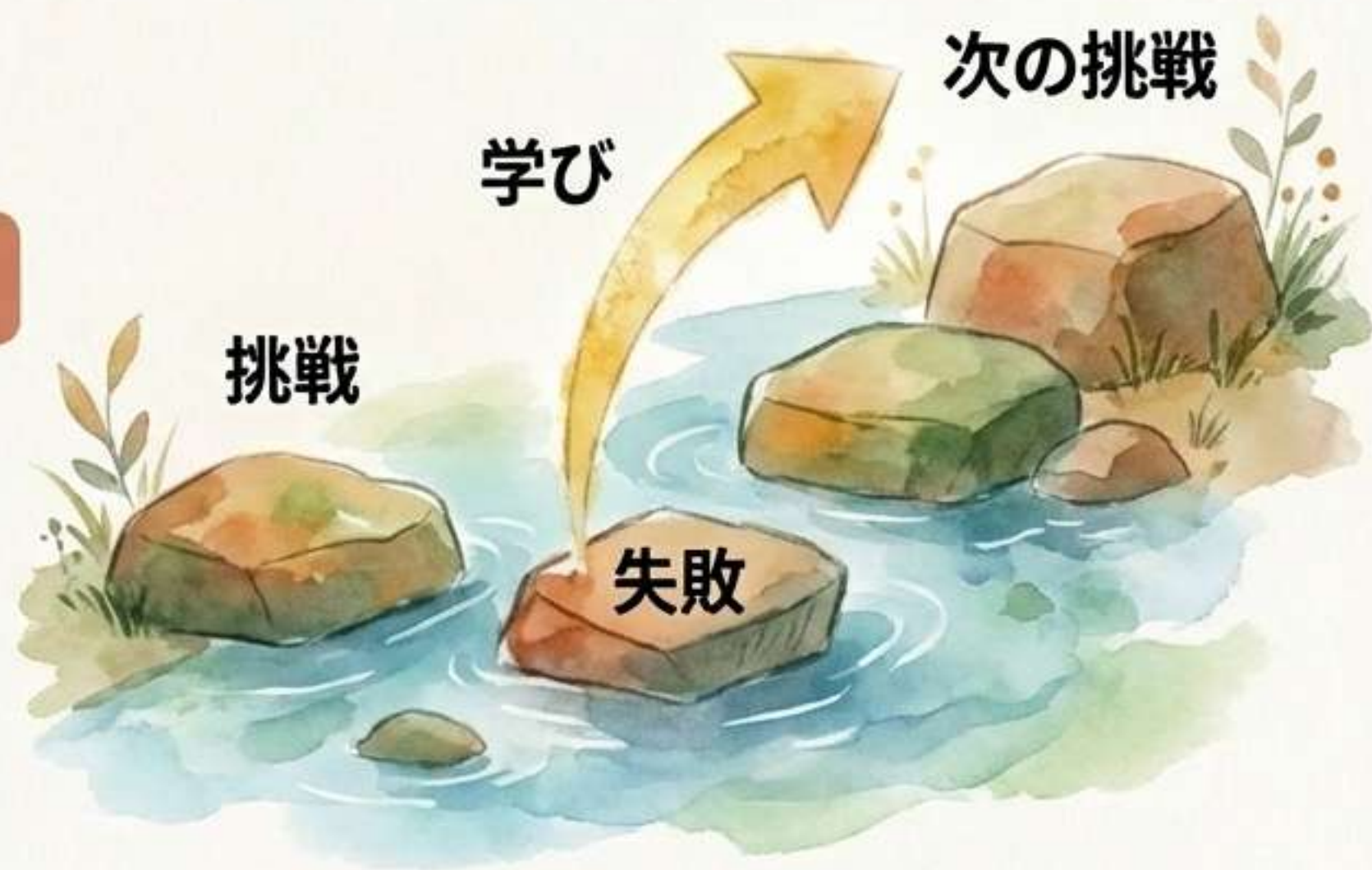
3. 学校経営を支える「3つのエンジン」
私たちのビジョンを実現するための、運営の核。

考え方①：「失敗」は、次の挑戦へのエネルギー

うまくいかなかったことは、
次の挑戦の「糧」になる。

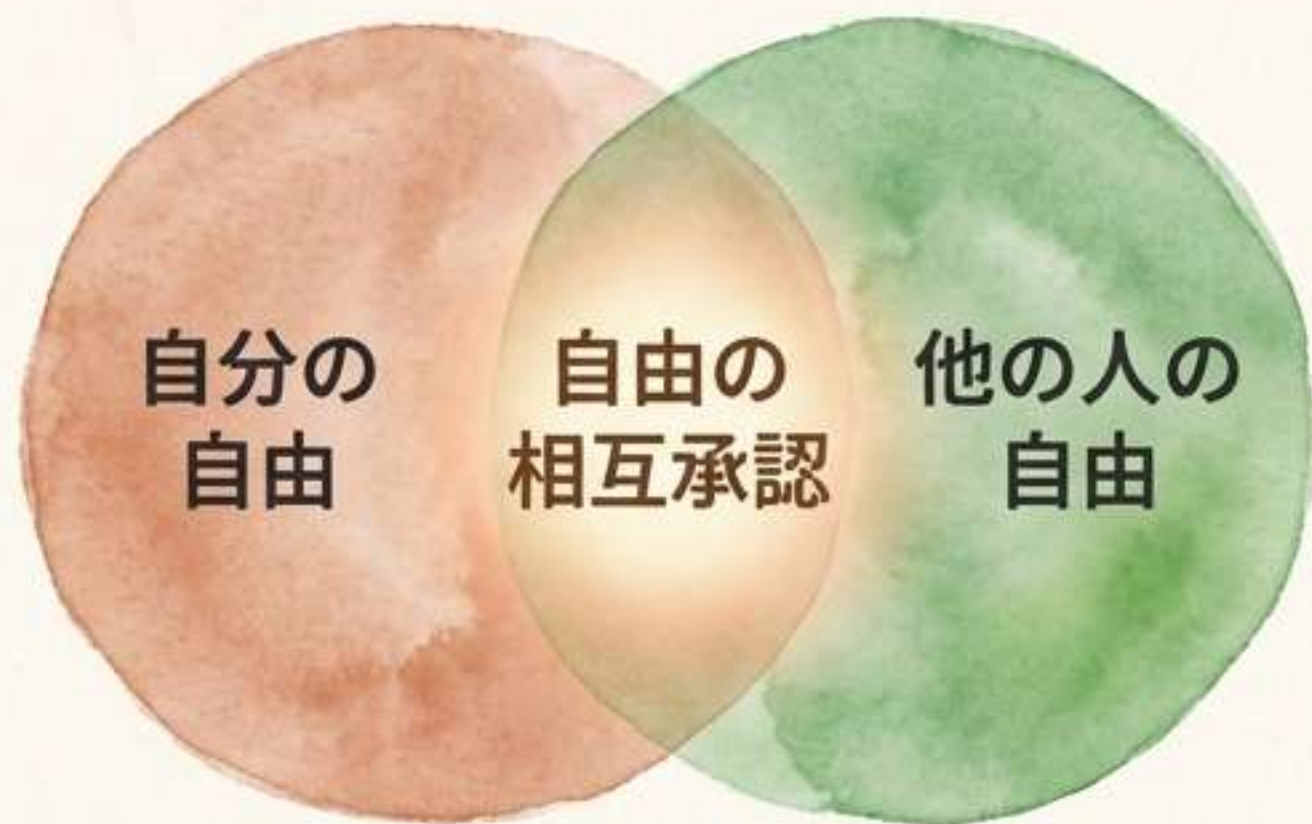
「エラー＆ラーン（Error & Learn）」

南部小学校は、子供たちが安心して挑戦し、
たとえ失敗しても、そこから学び、
再び立ち上がることができる場所です。
失敗が許され、何度でもやり直しができる
環境〈心理的安全性〉を保障します。



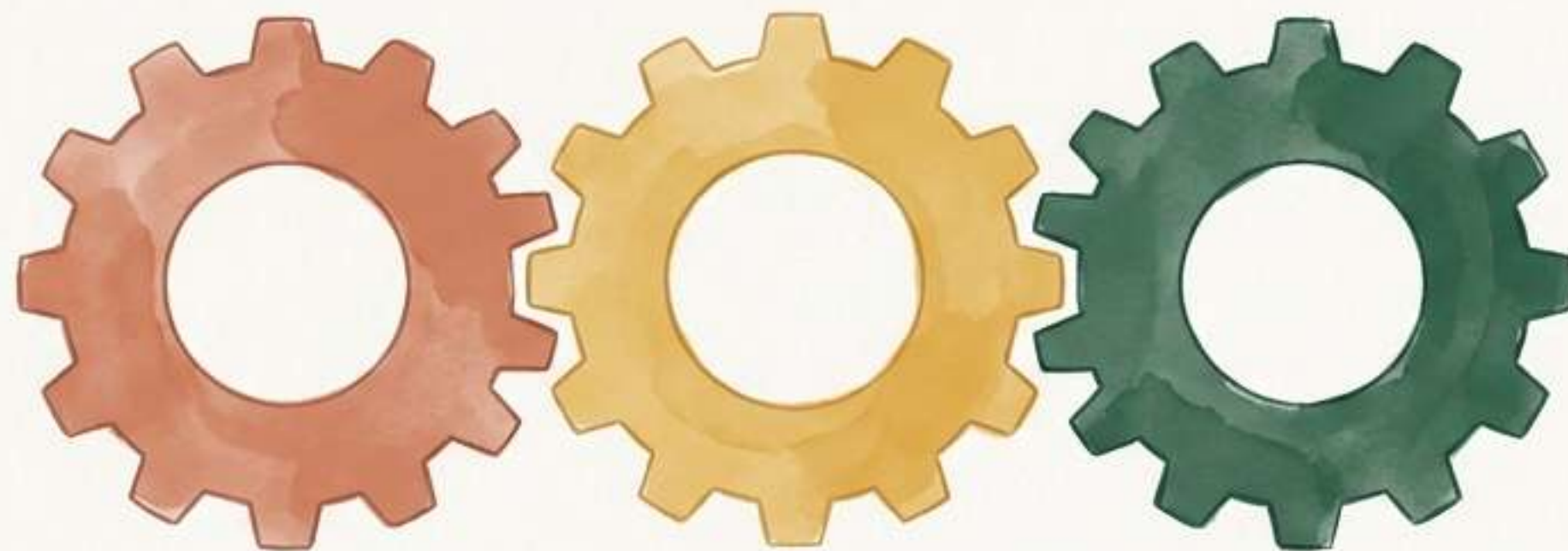
考え方②：尊重に基づいた「自由」

他の人の自由を大切にできて、
はじめて本当の「自由」は生まれる。



私たちは、子供たちが社会で調和して生きていくために不可欠な、
「自由の相互承認」の感覚を育みます。
これは、私たちが目指す「人を大切にする力【尊重】」の具体的な実践です。

考え方③：私たちの学校経営を支える3つのエンジン



Key 1：心理的安全性の保障

～対話を軸とした学校経営～



Key 2：問い直しと 新たな取組みの創造

～「アンラーン」の実践～



Key 3：自己肯定感の向上

～生きていくため・幸せになるための根本的な力～



エンジン①：心理的安全性の保障

～対話を軸とした学校経営～

- 子供も教職員も、誰もが安心して自分の意見を言え、新しいことに挑戦できる環境です。
- 失敗が非難されるのではなく、学びの機会として受け入れられます。
- 「何でも言い合える」オープンな対話が、信頼関係と成長の土台を築きます。これは、子供たちが自分らしくいられる「安心できる居場所」づくりに直結します。



エンジン②：問い直しと 新たな取組みの創造

～「アンラーン」の文化～

アンラーンとは

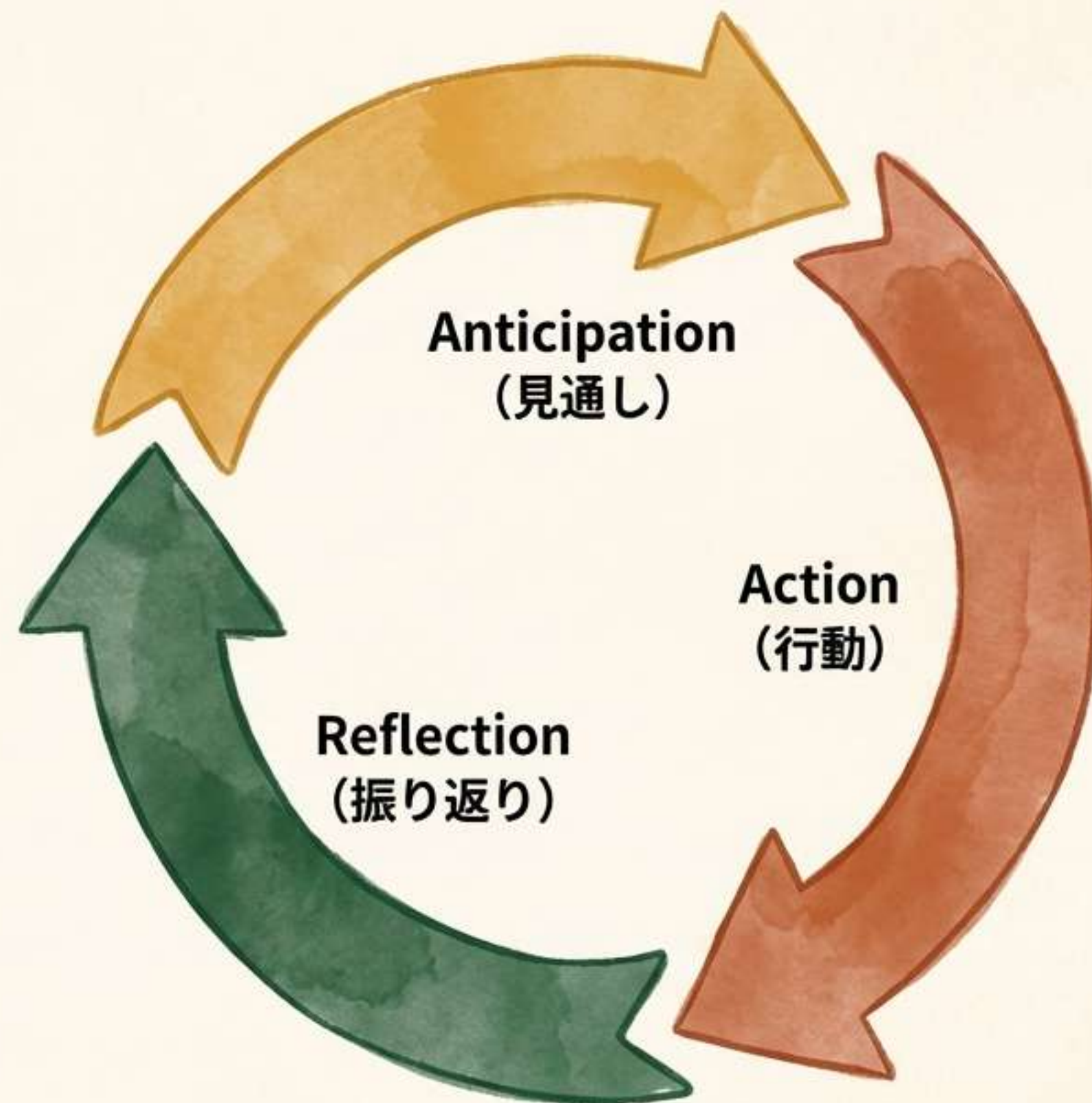
これまでの「当たり前」や既存の活動の意味を一度問い直し、より良い方法を模索し続ける姿勢です。

なぜ重要か

時代や子供たちの変化に対応し、常に質の高い教育を提供するためです。私たちは、常に学び、進化し続ける組織でありたいと考えています。

実践

「見通し→行動→振り返り」のサイクル（AARサイクル）を回し、スピーディーに改善を続けます。



エンジン③：自己肯定感の向上

～すべての中心にある、幸せの根本的な力～



「自己肯定感の向上」は、子供たちの教育目標であると同時に、私たちの学校経営そのものの中心です。教職員が子供一人ひとりの言動に価値を見出し（「みとる目」）、その存在、行動、成長を承認することで、子供たちの自己肯定感を育んでいきます。

この取り組みが、6つの感覚を豊かにし、子供たちが幸せに生きていくための土台を強固なものにします。

重点1：学びづくり

主体的・対話的で深い学び

子供が主語（Agency）

- 「教える」から「支援する」へ
- ICTの日常的活用
- スタートカリキュラム（遊びを通じた学び）

感性を刺激する5つの体験

1.  本物体験
2.  自然体験
3.  没頭体験
4.  成功体験
5.  失敗体験

重点2：行動づくり

自由の相互承認と当事者意識

~~みんな なかよし~~



みんなに やさしく



自由の相互承認

違いを優劣なく
認め合う



自己決定

自分で決め、結果を
引き受ける場の提供



対話

言葉でつながり、
合意形成する

重点3：体づくり

自分らしく生きるための「いのちの教育」



体力・運動

- 教科体育の充実
- 運動好きな子供を育てる



生活習慣

- 自己コントロール力
- 望ましい食習慣・生活リズム



危機管理

- 自分の命は自分で守る
- 組織的な即時対応

目指す教職員像：「質の高い教職員集団」

教師もまた、試行錯誤（Trial & Error）する

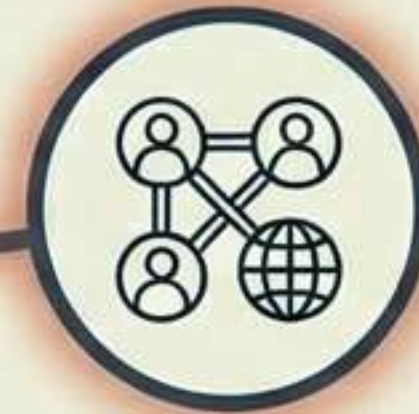
学び続ける

問い続け、自分を磨く



つながる

子供・地域・同僚と
つながる



健康である

心身ともに余裕をもつ



「子供は学びのプロである」
という敬意をもつ

働き方改善の更なる推進

「ワーク」を「ライフ」に取り入れ楽しむ

目標：時間外勤務

~~45h~~



40h

/ month

- **Scrap & Build :**

劣後順位を決め、「捨てる覚悟」をもつ。

- **いい加減（良い加減） :**

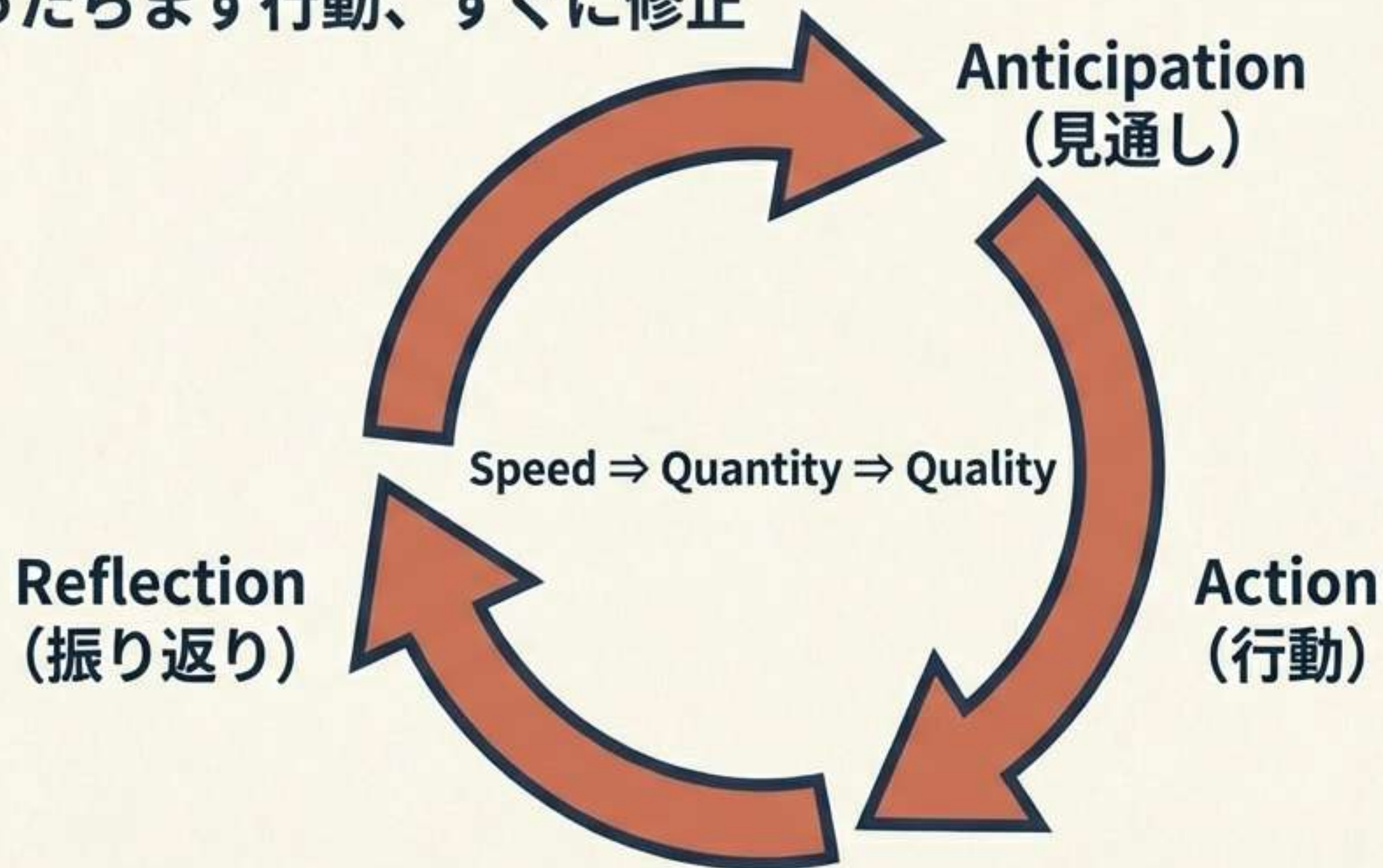
限られた時間の中で最適解を出す。

- **相乗効果 :**

教師のゆとりが、教育の質を高める。

組織運営のエンジン：AARサイクル

見通しが立ったらまず行動、すぐに修正



動きながら考え、修正し続ける組織へ

私たちは、みんなが学校づくりの主役です

「当事者意識」を持つということ

南部小学校の成功は、教職員だけの力では成しえません。

学校、保護者、地域、そして子供たち自身が、

「自分たちの学校をつくる当事者である」という意識を共有することが不可欠です。子供たちの成長を支える最高の環境を、ぜひ一緒に創り上げていきましょう。



共に、南部小学校の未来を。子供たちの未来のために。

私たち教職員一同は、自ら育つ力と、幸せを見つける力を備えた子供たちを
育むというビジョンに、全力で取り組みます。

保護者の皆様、地域の皆様とのパートナーシップを力に、一人ひとりの子供が
持つ無限の可能性を引き出す学校づくりを進めてまいります。
一年間のご理解とご協力を、どうぞよろしくお願いいたします。



寒河江市立南部小学校